

# 令和2年度の教育活動等に対する学校評価書

令和3年 3月4日

学校法人頌徳学園三和幼稚園長 金原 順一

学校法人頌徳学園三和幼稚園学校関係者評価委員代表 齋藤 早苗

## 1 幼稚園の教育目標

元気で明るくのびのびした子ども

情操豊かな子ども

友達を遊べる子どもを柱として、よく見てよく聞いてよく考える子の育成をする

## 2 本年度の重点目標

・子どもの主体性を養う保育 「もっとやりたい もっとみたい もっとしりたい やってみよう」

令和3年3月3日 学校関係者評価意見委員の意見を次記の通り報告します

令和2年度 三和幼稚園 学校評価委員代表 齋藤 早苗

### 3 自己評価結果とそれに対する学校関係者評価結果

評価対象	評価項目	自己評価		学校関係者評価委員会	
		評価点	幼稚園取り組みの反省と改善策	評価点	評価. 意見
保育の計画性	指導計画に沿って、日々の生活におろしていく 子ども達の現在の成長に合った計画をしていく	B	コロナ禍で多くのことが今まで通りにいかなかった。その分皆で検討し、最大限できることに取り組んだ。新しい様式（分散型）から得るものもあった。 改善点…活動内容・ねらいについて、各保育者自身がしっかり認識していく必要がある。「今まで」にこだわらず、「今」の子に合わせた内容（必要なことと不要なことの振り分け）の設定が必要。	B	先生たちが、行事に対し新しい知恵を出し合ったり、話し合ったりと懸命な姿が感じられた。制限がある中でも、子どもたちが楽しめるための工夫が見られた。
保育のあり方・ 幼児への対応	ひとりひとりの発達に合わせて、主体的・対話的な深い学びができていたか。	B	子どもたちからの思いを引き出せる方法を考えてきた。子どもたちが自分たちから発信・展開した活動は楽しい思い出として印象に残っており、保育者主導型では記憶に残りにくい（身につみにくい）ことが検証できた。 改善点…「主体性重視＝子ども任せ」にならないように、最後まで見届けやまとめ、記録をしていく。個々の成長の記録・個々への理解を深めて保育に臨みたい。	B	子どもの思いを尊重し、先生たちが「待つ」「寄り添う」姿が節々に見られた。子どもを認めてくれる保育が感じられた。先生たちが大切にしていることをもっと保護者に伝えていけると良い。
保護者への対応	子どもが今後よりよい成長を遂げるために保護者の思いに寄り添いながら、3者一体で進めていく	B	休園期間中に動画配信をしたことで、6月からの園生活に戸惑いが少なかった。行事を見て頂く機会が少ない分、園の様子をイメージしにくい保護者もいたが、できるだけ伝える努力をした。コロナ禍での行事開催につき、細かくお知らせしてきた。 改善点…子どもの様子を伝えようとするあまり、門での話が長引いたり、電話が長くなる傾向が見られた。「伝達を急ぐこと」と「他の手段でも間に合うこと」を考えて対応したい。	B	おたよりに子どもの様子があると、読むのが楽しかった。 些細なことでも優しく対応してくれて有難い。動画配信が途中からなかったことが残念だった。（配信が厳しくなったならその理由も伝えてくれれば良い）

			どの保護者にも平等であることを再認識したい。 コロナ対応については各家庭による意識のずれがあり統一理解してもらうことが難しかった。		
研修と研究	・研修で得た知識や情報を職員間で共有し保育に生かしていく	A	行事の見直しをすることで、保育者同士が「今できる一番良い方法」を模索し、前向きに取り組む姿勢が見られた。 主体性を重視した研究保育を各クラス行ったことで、各保育者が自分の保育を見つめ直す機会を持つことができた。 改善点…保育者自身も主体性が必要と感じた。特に若手保育者が自信を持って発言できる雰囲気づくりをしたい。	A	先生たちが子どもたちのために頑張ってくれていることを感じる。以前よりも柔らかい空気が園内に流れていることがわかる。 今後も継続して行ってほしい。

評価結果の表示

A	十分成果があった	B	成果があった	C	少し成果があった	D	成果がなかった
---	----------	---	--------	---	----------	---	---------

4 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
主体性を重んじた保育についての保護者への発信	園として大切にしていることや、その根拠、またその成果を伝えていく。伝わり易い方法を検討。
職員の資質向上に向けて	職員自身の主体性を養う。保護者対応でのルールやマナーの見直しをする。 挨拶の徹底 研修の積み重ねをし、自信を持って保育できる環境づくり
地域や自然との関わり	小学校との連携・職員が自然教育を深める（自然から不思議さ、愛情をもって育てた後の感動や悔しさ。自然の仕組みを知る）

